

本研修の目標と方法

2021年度徳島県主幹教諭研修 学校と地域の連携を促すための考え方と行動

2021年9月14日 byオンライン
鳴門教育大学 大林正史



1. 目標

主幹教諭が、学校と地域の連携を促す上での重要な考え方や行動についての理解を深める。

2. 内容

(1) 受講者が、「隠岐島前高校およびその地域では、どのような考え方や行動が、学校と地域の連携を促したのか」を考える(GW、ステップ2~7、約75分)

※ステップ3~7のGWでは、タイマーを予備10分含む60分でセット

タイマーが0になると、自動で全体に切り替わる。

GWが早く終わりそうなら、終わった時に、大林が全体へ切り替える

GW時、大林は、各グループを巡回して、適宜、ワークを支援する予定。

GW時、不明な点がある場合、「ヘルプのリクエスト通知」機能で、センターの担当者様へ要連絡。その場合、センター担当者から大林へ連絡後、大林が連絡があった部屋へ入り、質問に回答する。

(2) 各グループからの発表と質疑応答(全体、ステップ8、約25分)

(3) 大林の考えの紹介(全体、ステップ9、約10分)

ステップ2) 重要な考え方や行動の精選(全体、5分)

(1) 受講者は、事前課題シートに書いた「考え方や行動10点」からとくに重要な3点を決める

ステップ3) 受講者のグループわけ、自己紹介(15分)

(1) 大林が、3)~7)の手順をステップごとに説明、質疑応答

(2) 受講者のグループわけ (□タイマーを予備10分含む60分でセット)

①大林がブレイクアウトルームを起動

②受講者は、下記に指定されたルーム番号を選択し、入室

(3) 必要であれば、グループ内で、互いに簡単な自己紹介(GW)

(4) グループ内の役割分担を決定 (GW)

①リーダー

②発表者(できればzoom画面の共有経験者)

③タイムキーパー

ルーム	所属校及び所属課	氏名
1	徳島市波野小学校	吉原 賢治
	鳴門市板東小学校	笹 真也
	吉野川市立川島小学校	谷 聡司
	防災人材育成センター	谷川 智彦
	消費者政策課	岡田 朋之
2	海陽町立穴喰小学校	尾崎 啓明
	阿波市立一条小学校	佐藤 規孝
	東みよし町立三庄小学校	平尾 恭子
	グローバル・文化教育課	松田健一郎

ルーム	所属校及び所属課	氏名
3	徳島市徳島中学校	坂東 重樹
	阿南市立羽ノ浦中学校	三島 令子
	鳴門市第一中学校	天満 洋介
	美馬市立脇町中学校	中 章訓
	グローバル・文化教育課	武知 一誠
4	徳島市南部中学校	久米 輝
	神山町神山中学校	中南 篤志
	阿南市立那賀川中学校	長町真一朗
	東みよし町立三加茂中学校	近藤 剛

ステップ4) 重要な考え方や行動3点の入力(GW、5分)

- (1)リーダーが、zoomの「画面共有」における「ホワイトボード」を起動
 - (2)各メンバーが、「とくに重要な考え方や行動3点」をテキストで入力
- ※リーダーは、「とくに重要な考え方や行動3点」を画面上部の「テキスト」で入力
 ※同時に、他のメンバーは、起動されている「ホワイトボード」において、「とくに重要な考え方や行動3点」を画面上部にある「オプションを表示」→「コメントを付ける」→「テキスト」で入力

誰が書いたのかを判別するため、各メンバーは、次の2点に注意

- ①互いに入力する文字の色を変える。
- ②文字が互いに重ならないようにする。

イメージ例

ワーキングチームの立ち上げ 既存の会議をリニューアル 変革の8ステップの考え方	少人数でビジョン作成 社会教育主事の活用 自分が変わる
成功循環の考え方 子どもの変容を見せる 三方よしの考え方	自分の弱みを出してもらう 教育委員会に毎月訪問 岩本・花房が本気で観光甲子園の学習を指導

ステップ5) 重要な考え方や行動3点の説明(GW、10分)

- (1)各グループメンバーは、一人ずつ、自分が入力した「とくに重要だと思った考え方や行動3点」について、どうしてそれらを重要だと考えたのかを簡単に説明

※必要に応じて、互いに質疑応答可

①A氏が説明

イメージ例

ワーキングチームの立ち上げ 既存の会議をリニューアル 変革の8ステップの考え方	少人数でビジョン作成 社会教育主事の活用 自分が変わる
成功循環の考え方 子どもの変容を見せる 三方よしの考え方	自分の弱みを出してもらう 教育委員会に毎月訪問 岩本・花房が本気で観光甲子園の学習を指導

③C氏が説明

②B氏が説明

④D氏が説明

ステップ6) 重要な考え方や行動間の関係の整理(GW,20分)

- (1)各メンバーは、「とくに重要だと思った考え方や行動」の関連を議論しながら整理

※リーダーのみが、上部の「選択」ボタンを押せば、文字や図形の位置を移動可能
 ※似た考え方や行動を近くに置く。

「描き込む」ボタンを押せば、円で複数の文字を囲める。

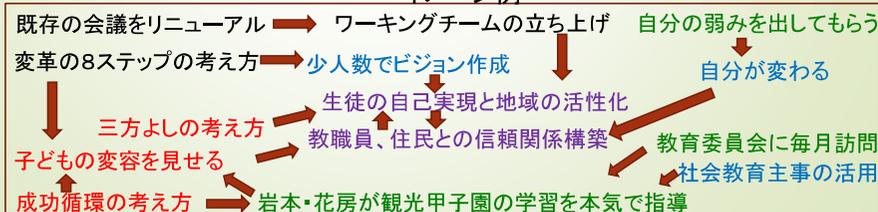
※「考え方や行動」の間の関連を図示。

「描き込む」ボタンを押せば、「→」などの図形を描ける。

※必要に応じて、「テキスト」入力にて、文字を追加して良い。

※「教職員と住民の信頼関係構築」など、状態の変化を追記しても良い。

イメージ例



ステップ7) グループとしての重要な考え方や行動3点を精選(GW、10分)

- (1)グループ内で、とくに重要な考え方や行動を、議論を通じて3点精選し、それらに「スタンプ」で「★」をつける。

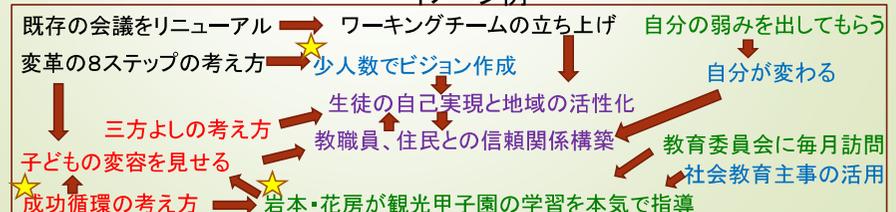
※なぜ、それらを選んだのかを説明できるようにしておく

- (2)各グループの「発表者」は、「保存」を押して、「ホワイトボード」の画像をPCに保存。

※初期設定では、PCに自動で作成されているzoomのフォルダに保存される

- (3)ワークが早く終わったグループでは本書の感想を自由に語り合う

イメージ例



ステップ8

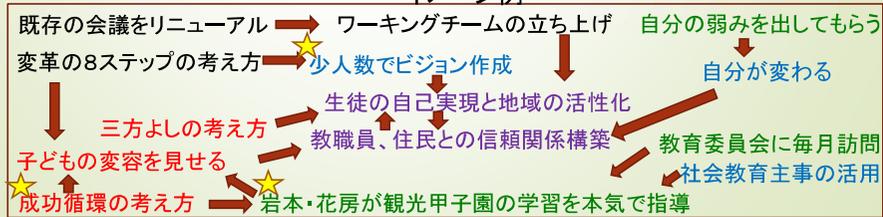
発表と質疑応答(全体、25分)

(1)各グループの「発表者」は、グループで精選した「とくに重要な考え方や行動」3点と「それらを選んだ理由」を発表

※1グループあたり3分発表、3分質疑を目安

※可能であれば、保存した「ホワイトボード」の画像を「画面共有」しながら、発表して下さい。

イメージ例



ステップ9)大林の考えを紹介

時間があれば、別紙を画面共有